

2-5

受水市町との連携・強固な信頼関係の構築

第2章全体を通じ、取組を効果的に進めるため、府は受水市町と連携し、広域化等研究会(P4参照)で検討を行い、合意を得た次のような取組を展開します。こうした連携を着実に進め、強固な信頼関係を築き、スパイラルアップさせていきます。

取 組 (案)

受水市町の意見を踏まえた取組

1 人材育成・技術継承

☆ 共同研修等の実施

- 公営企業会計制度検討会等の継続実施（対象市町範囲の拡大も検討）
- 府営水道や流域下水道等府直営施設における初任者研修
- 京都市水道技術職員研修等への相互乗り入れ
- 浄水施設等の相互訪問（ピアレビュー）

☆ 人材の確保

- 京都市等大規模水道事業者との連携

2 業務の共同化

☆ 共同委託・共同購入

- 水質検査等委託の共同化・薬品・資機材・燃料等の共同購入の検討

3 災害等緊急時対応

☆ 各水処理施設管理ノウハウ、緊急用資機材等の共同化・情報共有

- 相互支援が円滑に行える体制づくりを検討
- OB 職員の活用等各市町の工夫を共有

府営水道としての取組

1 水循環プラットフォームの構築

☆ 京都・水循環人材バンクの設置

- 水処理技術・運営管理・危機管理等に関わる広範な分野の有識者に協力依頼
- 受水市町からの要請に応じてアドバイスできる仕組みを構築
- 適宜、現地施設等を訪問、課題等を専門家視点で指摘

☆ 水循環に関する有益情報を配信

- ネット・テレビ・専門誌等から、水に関わる最新の情勢・知見を収集・整理、市町に随時発信

2 府営水道事業における広域連携支援の取組の推進

- 府・受水市町一体となった危機管理の取組強化（広域水運用の円滑化、節電・停電対策、水質管理等）
- 府民ニーズの把握 等

広域化等研究会
検討内容

H23. 9.16 管理者等意見交換会

府・市町の共同の取組として「広域化等研究会」設置を合意

H23.11. 1 第1回研究会

日水協職員による「広域連携の課題等」について講義

各市町にアンケート調査

H24. 1.24 第2回研究会

広域化等に係るアンケート調査結果を全体で共有

佐藤裕氏による「水道事業の広域化」について講演

H24. 4.17 第3回研究会

ビジョン反映も視野に広域連携の具体案を協議

各水系別検討状況を共有

今後の研究会

抜本的な方策等を含め幅広く研究を継続

